

朝の礼拝

聖書 イザヤ書 2章 4節 (旧約聖書1063頁)

主は国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。  
彼らは剣を打ち直して鋤とし  
槍を打ち直して鎌とする。  
国は国に向かって剣を上げず  
もはや戦うことを学ばない。

### 平和の鐘

「槍を打ち直して鎌とする」ことを本当に実践した日本人がいます。戦後、ひとりの日本人復員兵が故郷の菩提寺の釣り鐘がないことに気づきました。戦時中、武器を造るために抛出されていたのです。彼は自らの持つ軍刀をじっと見つめました。

そこで彼は軍刀、戦地で集めたコインなどを溶かし「世界絶対平和萬歳」と刻印した平和の鐘を造り、菩提寺に奉納したのでした。萬歳とは「よろずの年」、永遠を意味します。もう二度と戦争は起こさない、世界が永遠に平和であるようにという祈りは、やがて国連に届きました。

彼の提案で世界60カ国の国連代表者からコインが寄せられ、さらに世界各地からもコインが集まり再び平和の鐘が造られました。そして広島で被爆した禅宗住職と長崎のクリスチャンの女子生徒から被爆地の一握りの土が礎石に撒かれ、国連本部にも平和の鐘が吊されたのです。

今週の木曜日は国連の定めた「国際平和デー」です。国連本部では「日本の平和の鐘」が打たれ、平和への祈りが献げられます。78年前の癒えることのない深い悲しみは、どんなに戦禍が繰り返されても、平和の鐘の響きと共に永遠の平和への祈りとなっています。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、すべての人の心に平和を愛する心を燃やし、分かれ争う人びとに、平和を造り出す知恵を与えてください。特に、山火事で被災されたマウイ島、今年の夏だけで千件を超える山火事に襲われたカナダ、また地震で被災されたトルコ、モロッコ、大洪水に襲われたリビア、そして争いに巻き込まれているウクライナ、ロシア、スーダンの方々を覚えて祈ります。そして本日からカナダ姉妹校、セント・マーガレット・スクールの交換留学生皆さんを歓迎します。旅路の安全と、わたしたちの交流が平和への一助となりますようにお導きください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン